

武雄市 子どもの生活実態調査

—— 小学校5年生の保護者の皆様へ ——

皆様には、日頃から武雄市の子育て支援・学校教育等へ多大なご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

武雄市では、皆様がより安心して子どもを育てるために必要な取組みを検討するにあたり、子どものいる家庭の生活状況や子どもの様子、また子育ての悩みや困りごと等の実態を把握するためにアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、子どもの入学・進学にかかわる状況についても質問させていただくため、武雄市立の小学校1年生及び5年生、中学校2年生、武雄市内在住の16～17歳（平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれ）の子どもを持つ保護者の方を対象に実施するものです。回答いただいた内容は、学校で別途実施した子どもに対するアンケート調査と、個人を特定せず無作為な番号による世帯ごとの結び付けを行った上で、統計的に集計処理し、調査の目的以外には使用いたしません。

日々のお仕事や子育てにお忙しい中、恐縮ではありますが、子どもと保護者の皆様を支える市の子育て支援・学校教育等の充実に資するための調査にご協力をお願いします。

令和2年12月 武雄市教育長 松尾 文雄

お願い（このアンケート調査への答え方）

1. このアンケート調査は無記名です。できるだけ正確に回答してください。
2. それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの考えに近いものの番号を○で囲んでください。つける○の数は、質問ごとに（1つに○）、（それぞれ1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などを書いてありますので、それに従ってください。「その他（ ）」を選んだ場合は、カッコの中に、できるだけ内容を書いてください。
3. 回答は、このアンケート調査用紙に直接書き入れてください。
4. 回答は、鉛筆（シャープペンシルも可）かボールペンを使用し、濃く、はっきりと書いてください。また、修正するときは修正内容がわかるように、はっきりと書いてください。
5. このアンケート調査は、配付のあった学校経由で回収します。一緒にお渡しした封筒に入れて封をした上で、お子さんを通じて学校へ提出してください。

※このアンケート調査に関するお問い合わせは、すべて武雄市教育委員会の下記担当までお願いします。

武雄市教育委員会 こども教育部 こどもの貧困対策課

電話 0954-23-9168

1 回答者のご家族について

問1 あなた（回答いただいている方）の、お子さんからみた続柄についてお答えください。

（1つに○）

1. 母親	2. 父親	3. その他（	）
-------	-------	---------	---

問2 お住まいの地区についてお答えください。（1つに○）

1. 武雄町	2. 朝日町	3. 橘町	4. 若木町
5. 武内町	6. 東川登町	7. 西川登町	8. 山内町
9. 北方町	10. その他（	）	

問3 現在のお住まいについてお答えください。（1つに○）

1. 持ち家（自分所有）	2. 持ち家（家族所有）	3. 公営住宅
4. 社宅（住込みを含む）	5. 民間アパート・貸家	6. 間借り
7. その他（	）	

問4 生計を共にしているご家族は、あなたを含めて全部で何人か、単身赴任等による別居の親も含めてお答えください。（人数を記入。1つに○）

（あなたを含めた）ご家族の人数	[] 人	単身赴任等	1. あり	2. なし
-----------------	------------	-------	-------	-------

問5 お子さんのご家族の構成（単身赴任も含む）についてお答えください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもの母親	2. 子どもの父親	3. 子どもの祖母
4. 子どもの祖父	5. 子どもの兄弟姉妹	6. その他（
）		

問6 ご家族のうち、お子さんについて、それぞれ人数をご記入ください。

（※該当なしの場合は空欄）

1. 未就学（小学校入学前）のお子さんの人数	[] 人
2. 小学生のお子さんの人数	[] 人
3. 中学生のお子さんの人数	[] 人
4. 高校生のお子さんの人数	[] 人
5. 大学生（短大・専門学校等を含む）のお子さんの人数	[] 人
6. 働いているお子さんの人数	[] 人
7. 上記のいずれにも該当しないお子さんの人数	[] 人

【お子さんの親についてうかがいます】

※ひとり親家庭の場合は、各設問の該当する箇所にお答えください。但し「問8」につきましては、わかる範囲でかまいませんので、できるだけお子さんの両親についてお答えください。

問7 お子さんの親の年齢についてお答えください。（それぞれ番号を記入）

1. 20 歳未満	2. 20～24 歳	3. 25～29 歳	
4. 30～34 歳	5. 35～39 歳	6. 40～44 歳	
7. 45～49 歳	8. 50～59 歳	9. 60 歳以上	
母親	[]	父親	[]

問8 お子さんの親の最終学歴についてお答えください。（それぞれ番号を記入）

1. 中学校卒業	2. 高校 ^(※) 卒業		
3. 短大・高専卒業	4. 大学卒業・大学院修了		
5. 専門学校等卒業	6. その他		
7. 不明	(※)専修学校高等課程を含む		
母親	[] 「6. その他」の場合 ()	父親	[] 「6. その他」の場合 ()

問9 お子さんの親の就業状況についてお答えください。（それぞれ番号を記入）

1. 正社員・正規職員	2. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員		
3. 派遣社員	4. パート・アルバイト		
5. 自営業	6. 内職		
7. 収入をとまなう仕事はしていない	8. その他		
母親	[] 「8. その他」の場合 ()	父親	[] 「8. その他」の場合 ()

▼ 問9-1 お子さんの親のふだんの帰宅時間で、最も多い時間帯を選んでください。

※ご自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間を選んでください。（それぞれ番号を記入）

1. 18 時まで	2. 18～20 時		
3. 20～22 時	4. 22 時以降（早朝帰宅を含む）		
5. 交替制勤務で帰宅時間は決まっていない	6. 残業などで帰宅時間は決まっていない		
母親	[]	父親	[]

3 お子さんの生活・学習習慣について

問 15 お子さんの基本的な生活・学習習慣について、各項目の状況をお答えください。

(それぞれ1つに○)

項 目	できている	ほぼできている	できていない	わからない
決まった時間に起床する	1	2	3	4
決まった時間に就寝する	1	2	3	4
毎朝、朝食を食べる	1	2	3	4
朝や夜に歯をみがく	1	2	3	4
お風呂に入る	1	2	3	4
遅刻せずに学校に行く	1	2	3	4
宿題をする	1	2	3	4
自分の持ち物を整理整頓する	1	2	3	4
あいさつや「ありがとう」などが言える	1	2	3	4
友達と話したり、遊んだりする	1	2	3	4

問 16 お子さんは、現在、習い事等をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------------|
| 1. 学習塾・進学塾 | 2. 絵画・音楽・習字 | 3. 通信教育 |
| 4. 部活動・クラブ活動 | 5. スイミング | 6. 英会話 |
| 7. その他 () | | 8. 習い事等はしていない ⇒問 16-1 へ |

問 16-1 問 16 で、「8. 習い事等はしていない」を選んだ方にうかがいます。習い事等をしていない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 子どもが「やりたい」と言わないから
2. もっと自由に遊ばせたいから
3. 子どもに何をさせたらいいのかわからないから
4. 習わせる時間的なゆとりがないから
5. 習わせる経済的なゆとりがないから
6. 習い事の送迎ができないから
7. 習い事に行かなくても、自分で教えているから
8. 必要とは思わないから
9. その他の理由 () |
|--|

問 17 お子さんは、将来どの学校まで行くことになると思いますか。(1つに○)

1. 中学校	2. 高校	3. 高専（高等専門学校）
4. 短大	5. 大学・大学院	6. 専門学校
7. その他（ ）	8. わからない	

問 18 問 17 でそう考える最大の理由を教えてください。(1つに○)

1. 子どもが希望しているから	2. 自分達親もそうであったから
3. 子どもの学力から考えた結果から	4. 子どもの兄弟姉妹もそうするから
5. 子どもの仲の良い友達もそうするから	6. できるだけ早く働いてもらいたいから
7. 家に経済的な余裕がないから	8. 学歴は重要だと思うから
9. その他（ ）	

4 子どもを取り巻く環境・モノについて

問 19 次のような環境・モノについて、子どもにとって必要であると思いますか。(それぞれ1つに○)

項 目	必要である	できれば与えられた方がよい	必要でない
一日三度（朝・昼・夕）の食事	1	2	3
手作りの夕食	1	2	3
必要なときに病院・診療所に行く	1	2	3
絵本や子ども用の本	1	2	3
新しい文房具	1	2	3
季節にあった衣服	1	2	3
誕生日のお祝い	1	2	3
適当なおこづかい	1	2	3
子ども専用の勉強机	1	2	3
子ども部屋（兄弟姉妹と共有も含む）	1	2	3
キャンプなど自然体験活動への参加	1	2	3
遠足・修学旅行等の学校行事への参加	1	2	3
希望すれば高校・高専への進学	1	2	3
希望すれば大学等への進学	1	2	3

問 20 次のような環境・モノについて、あなたの家庭ではお子さんに与えられていますか。または、与えられそうですか。（それぞれ1つに○）

項 目	与えられている (与えられる見込である)	与えられていない (与えられそうにない)
一日三度（朝・昼・夕）の食事	1	2
手作りの夕食	1	2
必要なときに病院・診療所に行く	1	2
絵本や子ども用の本	1	2
新しい文房具	1	2
季節にあった衣服	1	2
誕生日のお祝い	1	2
適当なおこづかい	1	2
子ども専用の勉強机	1	2
子ども部屋（兄弟姉妹との共有も含む）	1	2
キャンプなど自然体験活動への参加	1	2
遠足・修学旅行等の学校行事への参加	1	2
希望すれば高校・高専への進学	1	2
希望すれば大学等への進学	1	2

問 21 あなたの世帯（家庭）では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。（それぞれ1つに○）

項 目	まったくない	何度かあった	頻繁にあった
必要な食料が買えなかった	1	2	3
必要な衣料が買えなかった	1	2	3
電気・ガス・水道料金の滞納	1	2	3
電話料金の滞納	1	2	3
家賃・住宅ローンの滞納	1	2	3
給食費の滞納	1	2	3

5 子育ての悩みや相談について

問 22 あなたは、子育てなどについて、心配や悩み事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 生活費などの経済的な負担 | 2. 将来的な教育費など |
| 3. 子どものしつけや接し方 | 4. 子どもの健康状態 |
| 5. 自分の健康状態 | 6. 家事・育児 |
| 7. 仕事 | 8. 周囲との人間関係 |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

問 23 あなたは、心配や悩み事などを誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 両親や親戚 |
| 3. 友人・知人 | 4. 自分の子ども |
| 5. 公的な機関 | 6. その他 () |
| 7. 相談相手がいない | 8. 相談する必要がある(自分で解決) |

問 24 お子さんが中学校に進学するにあたり、不安に思っていることはどんなことですか。

(3つまで○)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 友達との人間関係について | 2. 教科別の先生による勉強のこと |
| 3. 部活動のこと | 4. 通学路の安全について |
| 5. 学習塾・進学塾のこと | 6. そろえるものが多く経済的負担が大きいこと |
| 7. 中学受験について | 8. その他 () |

問 25 お子さんが中学校に進学するにあたり、特に経済的負担が大きいと思うものはどんなものですか。(3つまで○)

- | | | |
|---------------|----------------|-----------------|
| 1. 制服 | 2. 通学かばん | 3. 自転車 |
| 4. 体育服や水着 | 5. 上履きや体育館シューズ | 6. 問題集やテストなどの教材 |
| 7. 音楽や美術などの教材 | 8. 部活動の用具 | 9. 給食費 |
| 10. 特にない | 11. その他 () | |

6 各種支援・サービスについて

問 26 あなたは、次のような支援・サービスなどを利用したことがありますか。

(それぞれ1つに○)

項 目	利用している、 利用したことがある	知ってはいるが 利用したことはない	知らない
子育て総合支援センター	1	2	3
家庭児童相談員	1	2	3
ファミリーサポート事業	1	2	3
子どもの医療費助成	1	2	3
生活自立支援センター	1	2	3
学校適応指導教室「スクラム」	1	2	3
不登校・引きこもり訪問相談員	1	2	3
スクールカウンセラー	1	2	3
スクールソーシャルワーカー	1	2	3
母子父子自立支援員	1	2	3
女性総合相談事業	1	2	3
障がい者相談支援センター	1	2	3
こどもの笑顔コーディネーター	1	2	3

問 27 あなたが必要と思う支援はどのようなことですか。(3つまで○)

1. 保育や学校費用の軽減	2. 放課後等の学習支援
3. 塾の費用等の貸し付けや助成	4. 奨学金制度の充実
5. 子どもの居場所づくり	6. 就業のための支援の拡充
7. 住宅支援	8. 生活保護や就学援助の拡充
9. 一時的に必要な資金を借りられる支援	10. 医療や健康にかかわるサポート
11. 総合的・継続的に相談できる窓口	12. その他 ()
13. 特にない	

7 世帯の経済的状況について

問 28 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族全員の収入を合わせた「世帯の年間収入（税込み）」について、昨年（令和元年）はおおよそいくらでしたか。（1つに○）

※収入には、働いて得た給料だけではなく、株式配当や副収入等も含めます。

※但し、収入には、公的な援助手当は含めないものとします。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～170万円未満
4. 170～240万円未満	5. 240～290万円未満	6. 290～340万円未満
7. 340～380万円未満	8. 380～410万円未満	9. 410～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～600万円未満	12. 600～750万円未満
13. 750～1,000万円未満	14. 1,000万円以上	15. わからない

問 29 あなたの世帯では、過去1年間に次のような手当や援助等を受けたことがありますか。

（それぞれ1つに○）

項 目	現在も受けている	受けたことはある	受けたことはない
児童手当	1	2	3
児童扶養手当	1	2	3
就学援助	1	2	3
障害や難病の手当	1	2	3
公的年金（老齢年金）	1	2	3
公的年金（遺族年金、障害年金）	1	2	3
離婚後の養育費	1	2	3
生活保護	1	2	3

問 30 あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。（1つに○）

1. かなりある	2. まあまあある	3. ふつう
4. あまりない	5. まったくない	

問 31 あなたが子どものころ、生活に経済的なゆとりがあったと思いますか。（1つに○）

1. かなりあった	2. まあまああった	3. ふつう
4. あまりなかった	5. まったくなかった	

問 32 現在のあなたは、ご自身が幸せだと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. とても幸せである | 2. まあまあ幸せである | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり幸せではない | 5. まったく幸せではない | |

8 コロナ禍の影響について

問 33 新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、あなたの世帯では年間収入(世帯年収)への影響がありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 影響はほとんどない | 2. 世帯年収が1～2割程度減少(しそう) |
| 3. 世帯年収が3～4割程度減少(しそう) | 4. 世帯年収が5割以上減少(しそう) |
| 5. 収入の目途が立たない | 6. 世帯年収が増加(しそう) |

問 34 新型コロナウイルス感染症の影響で、お子さんの生活には様々な変化があるかと思いますが、特にどのような変化が心配・気がかりですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 身体を動かす機会が減ったこと | 2. 友人等との交流の機会が減ったこと |
| 3. 勉強に遅れが出ていること | 4. 家に閉じこもりがちになったこと |
| 5. 生活のリズムが崩れたこと | 6. 体調が不安定になったこと |
| 7. 家族との関係が悪くなったこと | 8. 留守番をする時間が増えたこと |
| 9. その他() | 10. 心配・気がかりな変化は特にない |

問 35 新型コロナウイルス感染症が流行する中、子育てに関してどのような支援が必要だと思いますか。(3つまでに○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. コロナに関する正しい情報の提供 | 2. 市内のコロナ感染状況・情報の迅速な提供 |
| 3. 保育・教育費用への経済的支援 | 4. 給食費の減免・無償化 |
| 5. 進学費用への経済的支援 | 6. 子どもの医療費の減免・無償化 |
| 7. 自宅のネット環境整備への経済的支援 | 8. 学習支援 |
| 9. その他() | 10. 特にない |

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled document.